

その十一

「古戦場公園みんなでやらんかい(会)」

古戦場公園再整備事業



市民ワークショップニュースレター



- ◆日時：令和4年2月19日【土】
- ◆場所：長久手市岩作石田地内古民家
- ◆参加者：30名
- ◆時間：午前10時から午前11時45分まで

### スケジュール

- 10:00  
・開始
- 10:00~10:10  
・歴史民俗体験施設の概要説明
- 10:10~10:30  
・歴史民俗体験施設で実施する体験活動について
- 10:30~10:40  
・お茶休憩
- 10:40~11:30  
・市民による古民家再生について（浦井巧氏）
- 11:30~11:45  
・質疑応答・アンケート記入
- 11:45  
・終了

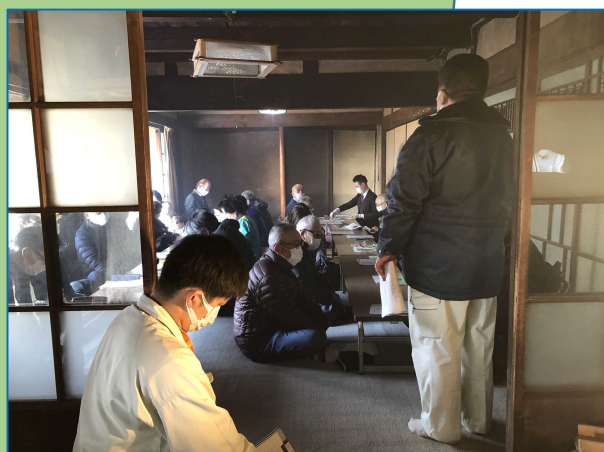


### 歴史民俗体験施設の概要説明

古戦場公園再整備として、古民家を歴史民俗体験施設の主屋として、古戦場公園西側ゾーンに移築整備し、長久手の歴史民俗資料の展示や体験活動を行うことができる施設とする予定です。

歴史民俗体験施設は、移築古民家（主屋）、收藏庫、納屋、体験施設・トイレと広場で構成します。

整備後の歴史民俗体験施設では、農業を中心とした長久手の人々の暮らしの変遷を学びながら、様々な昔の生活を体験できるようにしていきます。



### 歴史民俗体験施設で実施する体験活動について①

市で所有している民具（播種機、千歯扱き、唐箕、縄ない機、石臼、おこしもの型等）を古民家に準備して、学芸員と民具に詳しい市民の方に体験談を交えながら使用方法について説明をしてもらいました。

参加者からは、「初めて見た！」や「懐かしい！昔、自分の家にあった！」など様々な声があがっていました。



縄ない体験

### 歴史民俗体験施設で実施する体験活動について②

民具説明の後は、体験の時間です。



千歯扱きで脱穀を体験したり、唐箕を使って粃とわらくずを仕分けしたりしました。

また、手作業の縄ない体験もあり、みなさん最初は苦戦していましたが、最終的には丈夫な縄を完成させていました。

歴史民俗体験施設では、こういった体験活動を実施できるように今後も検討していきます。

車のおこしもの型に  
興味津々



唐箕

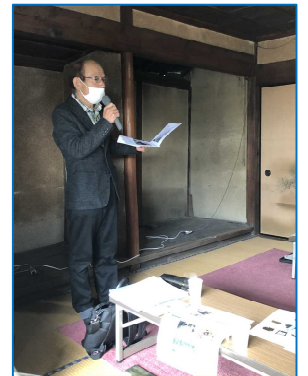


縄ない機



### 市民による古民家再生について

市民による古民家再生について、当時、海上古民家再生プロジェクト実行委員会のメンバーとして古民家移築に携われた浦井巧氏から当時のお話を伺いました。イベント後のアンケートでは、浦井氏のお話を聞いて、「古民家移築に興味が出た」や「古民家移築を手伝いたい」という意見もありました。



### 今後の予定

今後のワークショップでは、史跡ガイド・イベントの開催・情報発信・昔の暮らしを学ぶため、民具を使用した体験活動の検討をしていきたいと考えています。

また、長久手市の歴史民俗体験施設の主屋として古民家を移築する際にも市民のみなさんにご協力いただきたいと思います。

是非今後の取り組みにもご参加くださいますようよろしくお願いします。



アンケートの主な意見

浦井巧氏の移築事例のお話は興味深いものでした／主屋の中を見れて、とても良かったです／想像よりも、多くの方が参加しており驚きました／民具は体験活動を行う際に大いに活躍できると思います／古民家の移築に関して、市と市民のそれぞれ役割を明記してほしいです／今までのワークショップ成果をまとめて、文化の家で発表会をしたらどうか／歴史民俗体験施設全体の運営をどのような方法で行うかの検討が必要／今後のワークショップも楽しく参加出来るようにしてください／お茶が美味しかったです／長久手の人々の暮らしの変遷を子供達や次世代に教えるべき。などなど沢山のご意見ありがとうございました。